⑤アブラハム
聖徒たちと歩む聖書 ~13~
アブラハム　その5
「仲介者の使命」
創世記18～19章　ソドムの滅び

【今日のアウトライン】

０．ふりかえり
　　アブラハム契約の恵み

Ⅰ．アブラハムのとりなし

Ⅱ．ソドムの滅び

Ⅲ．まとめと適用
　　絶望の中にも残った灯火

【無垢の時代】
天地創造
【良心の時代】
堕罪
~大洪水
【人類統治の時代】
バベルの塔事件
【約束の時代】
アブラハム
～ヤコブ
【律法の時代】
イスラエル
王国時代
メシア初臨
【恵みの時代】
聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨
【御国の時代】
千年王国
大審判
新天新地
①エデン契約
②アダム契約
③ノア契約
④アブラハム契約
⑤モーセ契約
⑥土地の契約
⑦ダビデ契約
⑧新しい契約
【ディスペンセーション】
七つの時代区分と
八つの契約
過　去
現　在
未　来

【無垢の時代】
天地創造
【良心の時代】
堕罪
~大洪水
【人類統治の時代】
バベルの塔事件
【約束の時代】
アブラハム
～ヤコブ
【律法の時代】
イスラエル
王国時代
メシア初臨
【恵みの時代】
聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨
【御国の時代】
千年王国
大審判
新天新地
①エデン契約
②アダム契約
③ノア契約
④アブラハム契約
⑤モーセ契約
⑥土地の契約
⑦ダビデ契約
⑧新しい契約
神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!
過　去
現　在
未　来

【最初のメシア預言】 創3:15

「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとにかみつく。」

原福音

■人が罪を犯した後、神は一方的にアダム契約を結ばれ、メシアによる救いを約束された。

神の契約の本質は、恵み

【創世記11章までに明らかになったこと】

①人類は、たった一つの約束も守れなかった。

②人類は、**良心**によって、世界を正しく治めることはできなかった。

③人類は、**組織**によっても、世界を正しく治められなかった。

人間は、自分の努力で、神との平和を作り出すことはできない!!
人類の希望は、神が約束された女の子孫、メシアにある!!

神の計画が、いよいよ、アブラハムから動き出す!!

【アブラハム契約】 12章で約束されたこと

■アブラム個人への祝福■

多くの民族がアブラムから生まれ、
アブラムの名が讃えられる。

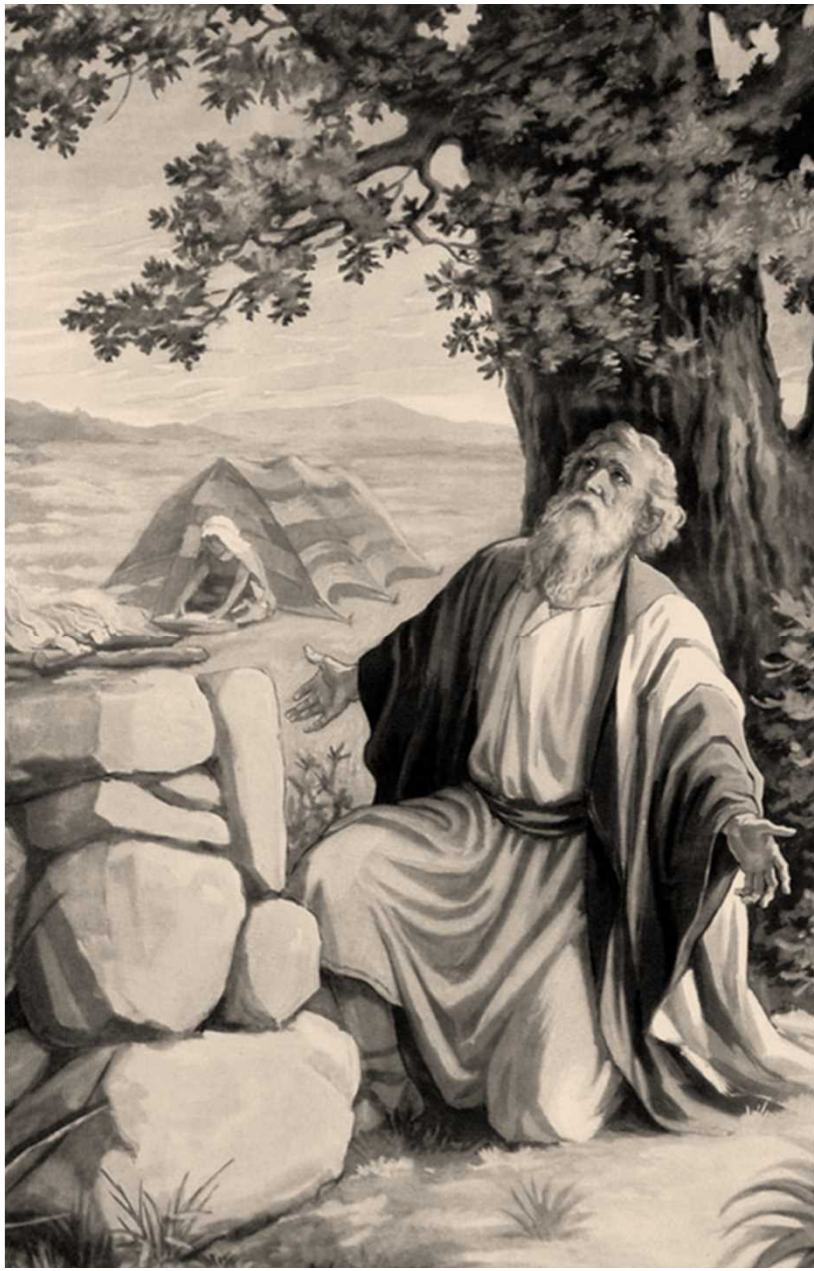
■アブラムと子孫を守る付帯条項■

アブラムを呪う者には呪いが、
祝福する者には祝福が与えられる。

■メシアによる全民族への祝福■

「地上のすべての民族は、
あなたによって祝福される。」

⇒アブラムの子孫からメシアが誕生する。



【アブラハム契約とは】

聖書全体を貫く大原則

【三つの主な条項】

①子孫の約束　…数えられないほど子孫を増やす。

②土地の約束　…ナイル支流からユーフラテスまで。

③祝福の約束　…子孫からメシアが誕生する。

※付帯条項　…祝福と呪い。イスラエルの生存保証。(創12:3のみ)

例)エジプトでの出来事。ロトの奪還。

※しるし　…割礼

【アブラハム契約の特徴】

■アブラハムは、神の約束を信じ、
　神は、アブラハムを義と認められ、救われた。
※信じて救われる　➡　救いの大原則・**信仰義認**

■神の約束は、一方的に結ばれた、**無条件契約**
➡神の約束が、民を守り、導く。

■選びの民には、使命と試練がある!!
➡子孫が、エジプトで奴隷として400年を過ごす!!
➡400年は、カナンの民の悔い改めの猶予期間!!

【アブラハム契約の継承】 創 26:3～5

■二代目イサクに約束されたこと。

①神がイサクと共にいる。
②この地にとどまればイサクを祝福する。
③この国々をイサクと子孫に与える。
④アブラハムの誓いを受け継ぎなさい。
⑤子孫を星のように増やす。
⑥子孫に、この国々(この地)を与える。
⑦子孫にメシアが誕生し、
　すべての国々を祝福する。

【三代目イサクへの継承】 創世25:13～15

①わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、【主】である。

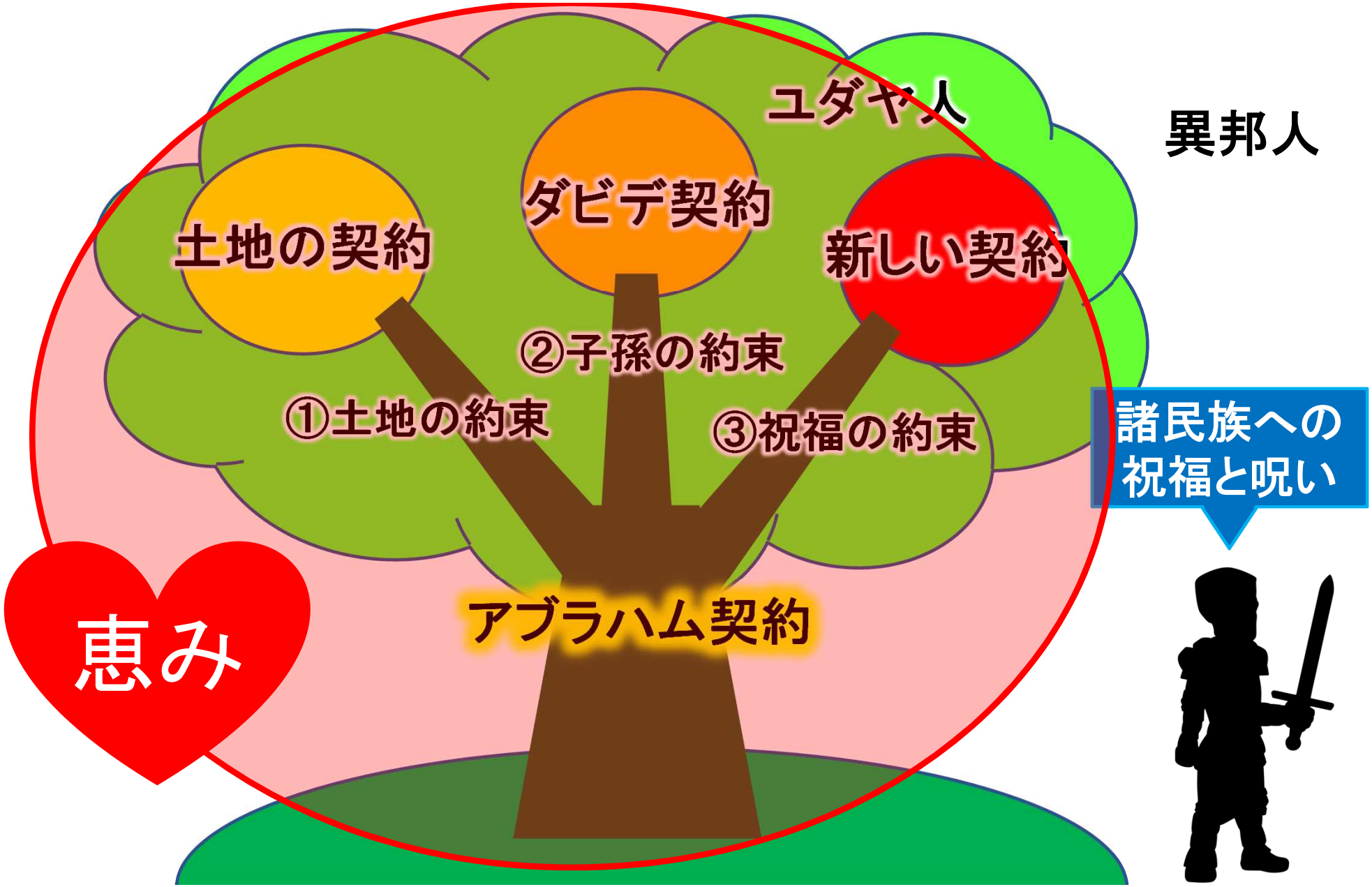
②わたしはあなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫とに与える。

③あなたの子孫は地のちりのように多くなり、あなたは、西、東、北、南へと広がり、

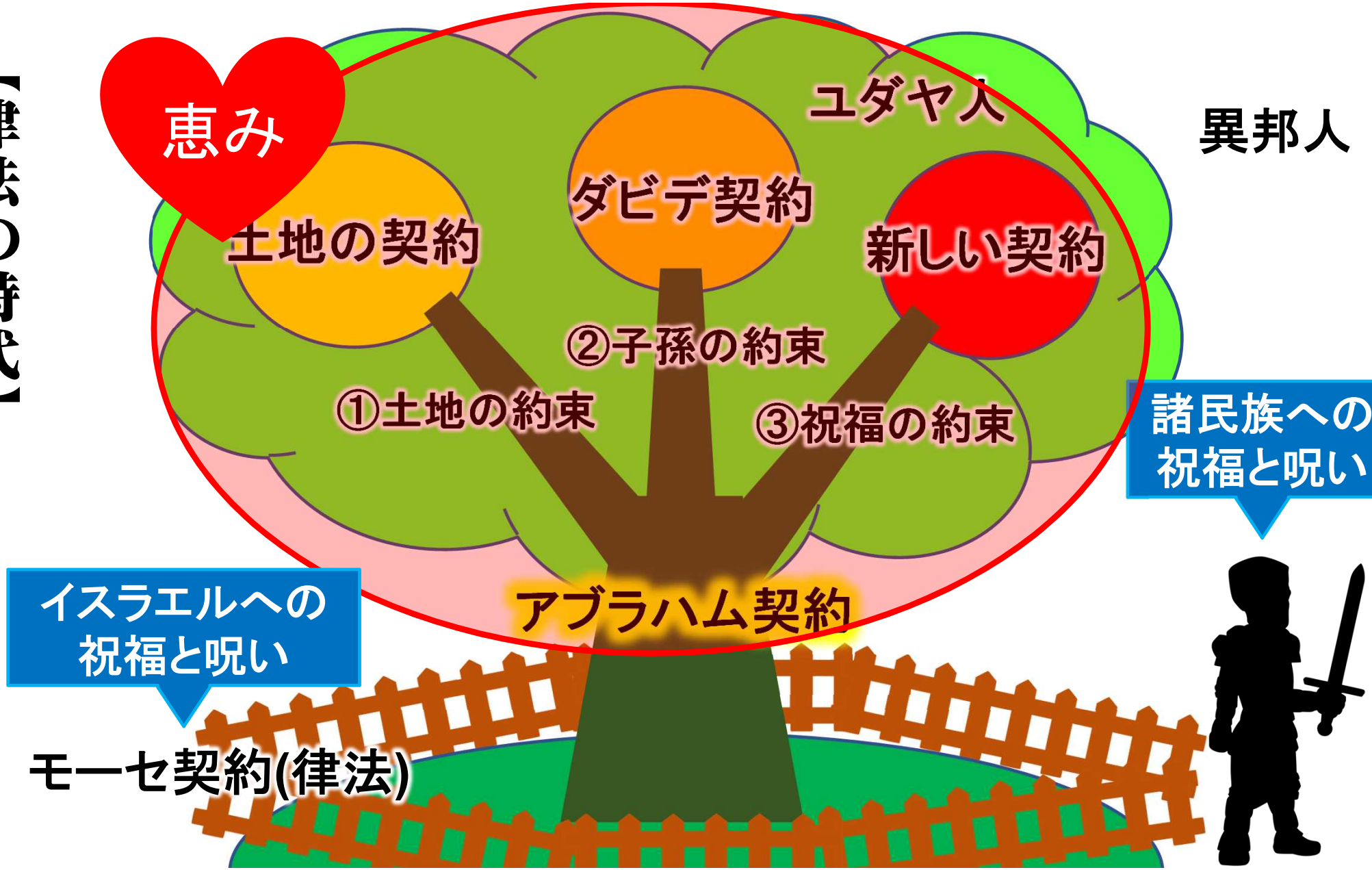
④地上のすべての民族は、あなたとあなたの子孫によって祝福される。

⑤見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。

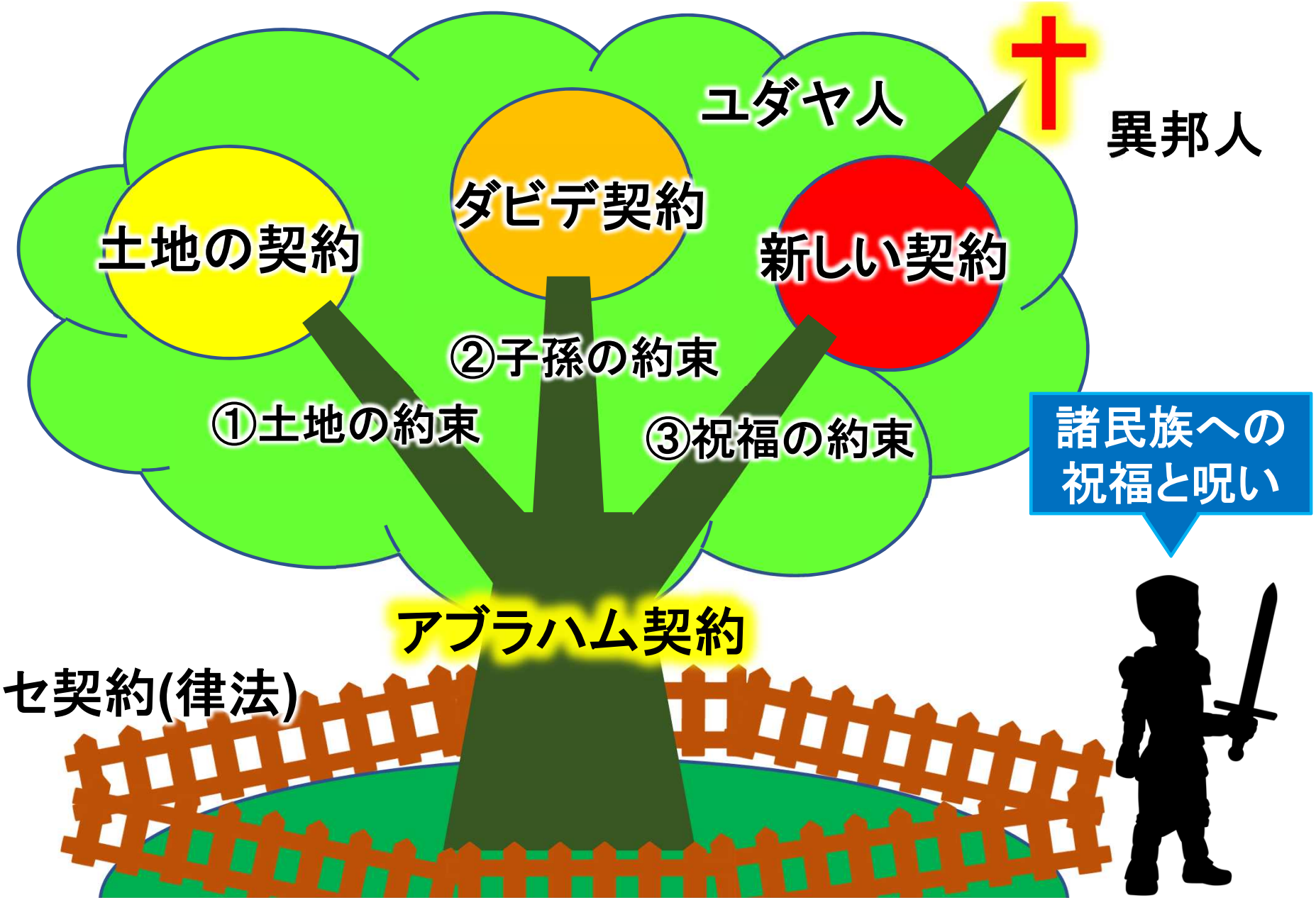
【アブラハム契約】


ユダヤ人
異邦人
土地の契約
ダビデ契約
新しい契約
②子孫の約束
①土地の約束
③祝福の約束
諸民族への
祝福と呪い
恵み
アブラハム契約

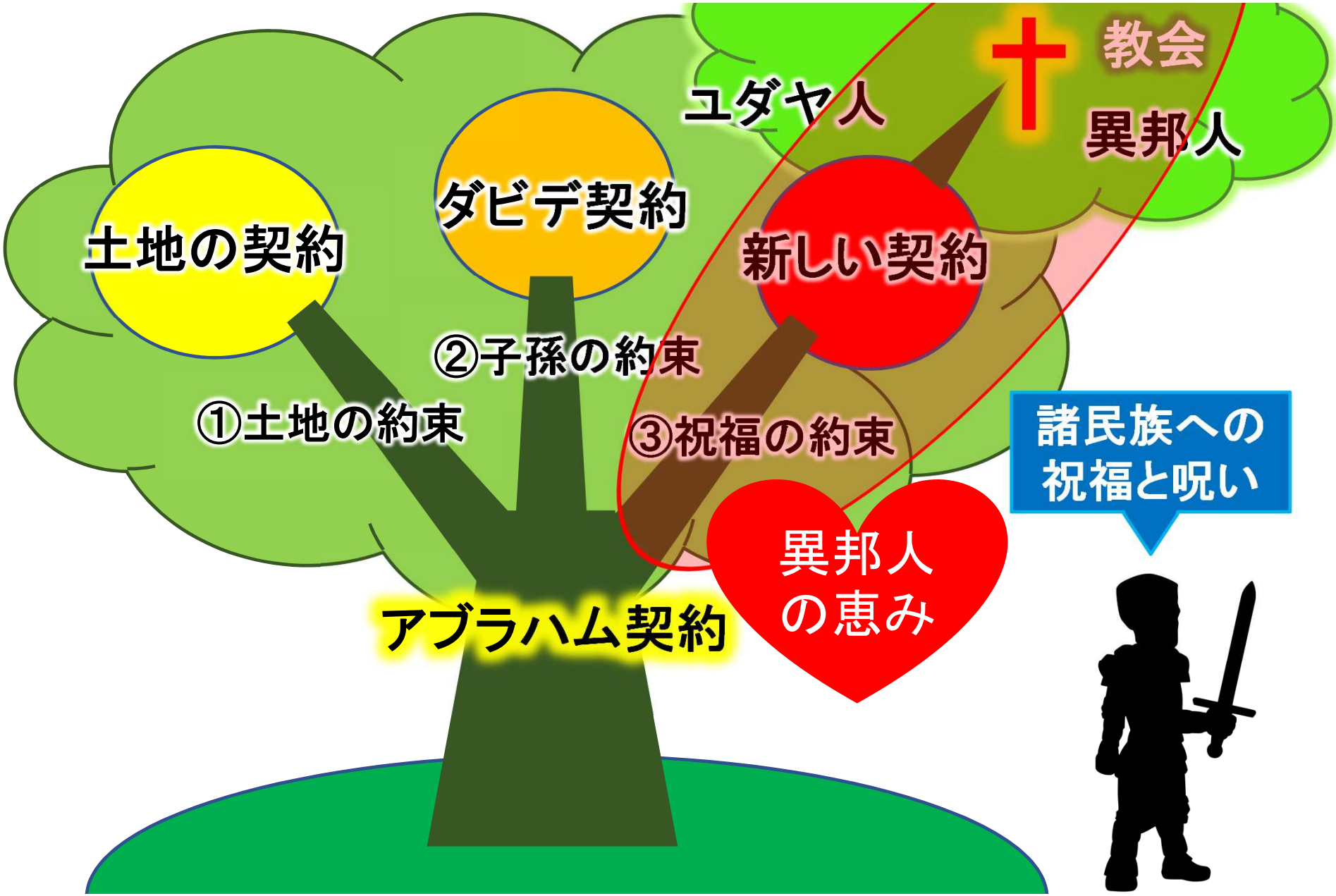
【律法の時代】


恵み
ユダヤ人
異邦人
土地の契約
ダビデ契約
新しい契約
②子孫の約束
①土地の約束
③祝福の約束
諸民族への
祝福と呪い
イスラエルへの
祝福と呪い
アブラハム契約
モーセ契約(律法)

【律法の時代】


ユダヤ人
異邦人
土地の契約
ダビデ契約
新しい契約
②子孫の約束
①土地の約束
③祝福の約束
諸民族への
祝福と呪い
アブラハム契約
モーセ契約(律法)

【教会の時代・今】


教会
ユダヤ人
異邦人
土地の契約
ダビデ契約
新しい契約
②子孫の約束
①土地の約束
③祝福の約束
諸民族への
祝福と呪い
異邦人
の恵み
アブラハム契約

【繰り返される契約の原則】

■アブラハム契約は、神の一方的恵み。

①土地の約束
②子孫の約束
③祝福の約束

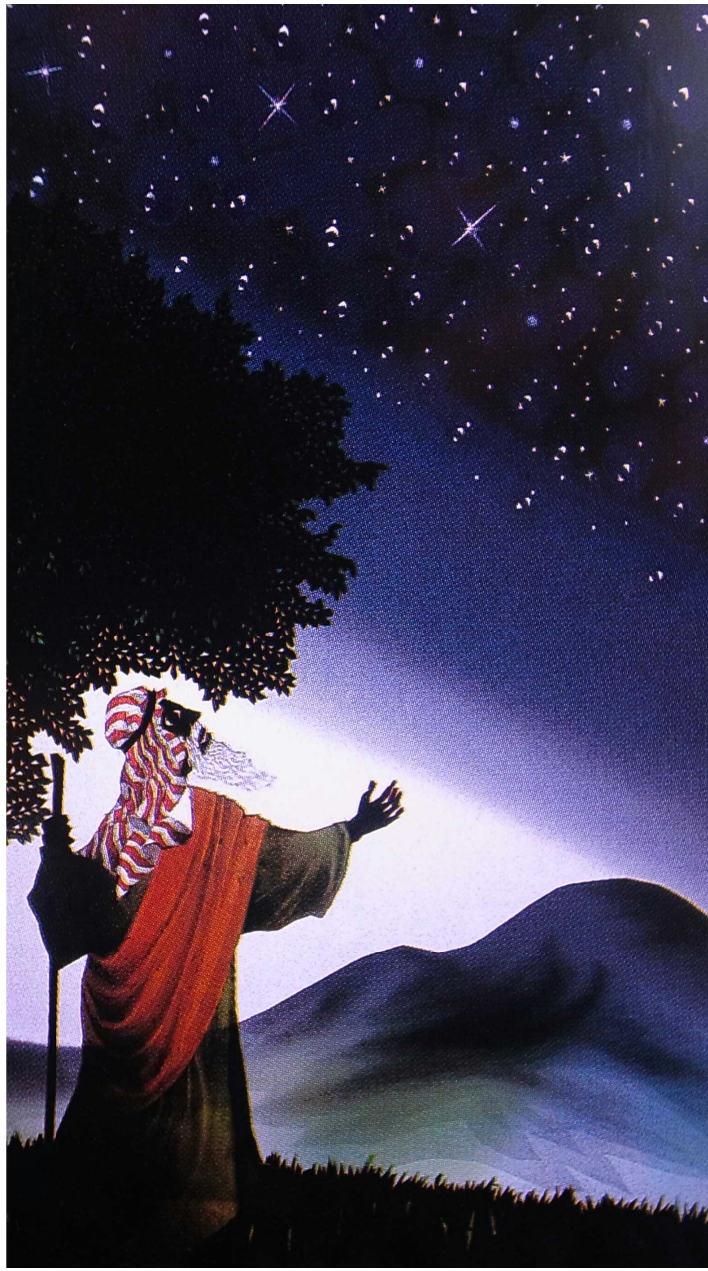
■付帯条項の祝福と呪い

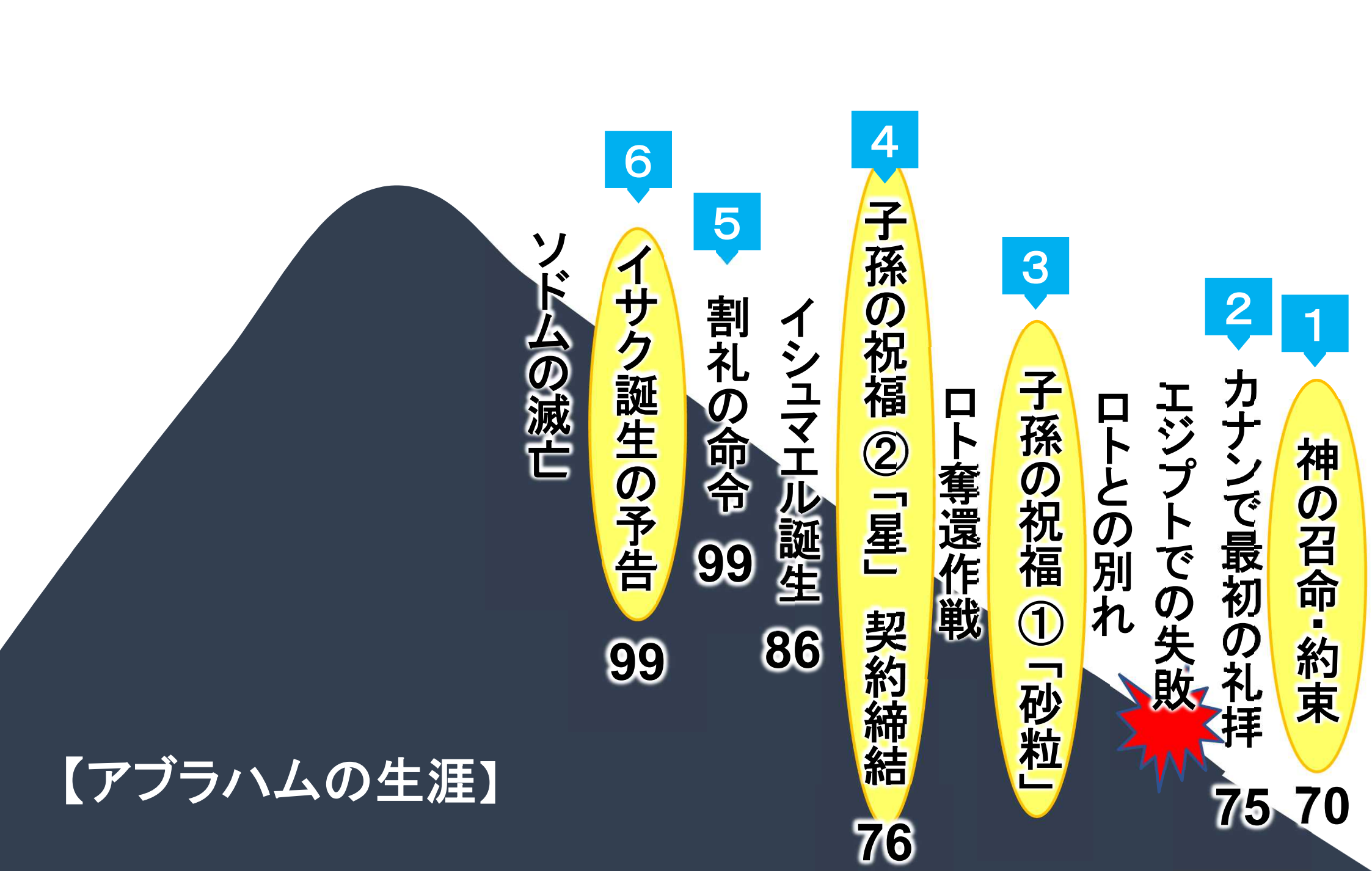
祝福と呪いは、永遠の裁きではない!!
あくまで地上の歩みを導くもの。

例) ユダヤ人差別と救いの関係は？
ルターは救われているか？

■救いの大原則

ただ、信仰により、恵みによる。




【アブラハムの生涯】
1
神の召命・約束
70
2
カナンで最初の礼拝
75
エジプトでの失敗
ロトとの別れ
3
子孫の祝福①「砂粒」
ロト奪還作戦
4
子孫の祝福②「星」契約締結
76
イシュマエル誕生
86
5
割礼の命令
99
6
イサク誕生の予告
99
ソドムの滅亡

Ⅰ.アブラハムのとりなし
創世記18:17～33

【神の告白の理由①】 創 18:17～18

【主】はこう考えられた。「わたしがしようとしていることを、アブラハムに隠しておくべきだろうか。

アブラハムは必ず大いなる強い国民となり、地のすべての国々は、彼によって祝福される。

■見送りの途中で、主が警告をされた。

■祝福を約束されたアブラハムには、
知らされるべき、神のご計画がある!!

【神の告白の理由①】 創 18:19

わたしが彼を選び出した*のは、彼がその子らと、彼の後の家族とに命じて【主】の道を守らせ、正義と公正とを行わせる*ため、【主】が、アブラハムについて約束したことを、彼の上に成就するためである。」

＊彼を知った(口語訳) …親密に知ること。
神は、アブラハムと親密な関係を作られた。

＊アブラハムは、地上における神の代理人。
人の神とのあるべき関係を体現する者。

神は、アブラハムに、代理人としての使命を果たさせる。

【主の告白】 創 18:20～21

そこで【主】は仰せられた*。「ソドムとゴモラの叫びは非常に大きく、また彼らの罪はきわめて重い。わたしは下って行って、わたしに届いた叫びどおり*に、彼らが実際に行っているかどうかを見よう。わたしは知りたいのだ。*」

＊受肉前のキリスト。
＊義人ロトの祈り、訴えが聞き届けられた？

＊神は知らない？　わけではない!!
　⇒最終確認。悔い改めのラストチャンス!!

■裁きの前には、十分過ぎる猶予期間がある!!
　ソドムが、アブラハムに救出されてから、24年!!

【アブラハムのとりなし】 創 18:22～23

その人たちはそこからソドムのほうへと進んで行った。アブラハムはまだ、【主】の前に立っていた。*
アブラハムは近づいて申し上げた。「あなたはほんとうに、正しい者を、悪い者といっしょに滅ぼし尽くされるのですか。」

*神を知り、主の前に立たされている理由とは？

■ソドムのための、アブラハムのとりなしが始まる。

【アブラハムのとりなし】 創18:24～25

もしや、その町の中に五十人の正しい者がいるかもしれません。ほんとうに滅ぼしてしまわれるのですか。その中にいる五十人の正しい者のために、その町をお赦しにはならないのですか。

正しい者を悪い者といっしょに殺し、そのため、正しい者と悪い者とが同じようになるというようなことを、あなたがなさるはずがありません。とてもありえないことです。全世界をさばくお方は、公義を行うべきではありませんか*。」

＊神のご性質に訴えかけるアブラハム。

■とりなしのカギは、神の性質をよく理解し、
神の御心を聴き取ること。

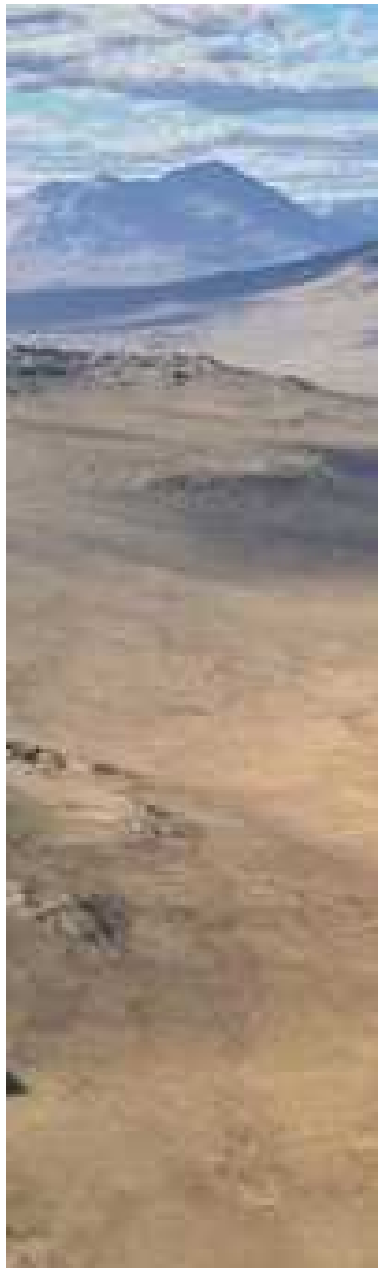
【アブラハムのとりなし】 創 18:26～28

【主】は答えられた。「もしソドムで、わたしが五十人の正しい者を町の中に見つけたら、その人たちのために、その町全部を赦そう。」

アブラハムは答えて言った。「私はちりや灰にすぎませんが、あえて主に申し上げるのをお許しください。もしや五十人の正しい者に五人不足しているかもしれません。その五人のために、あなたは町の全部を滅ぼされるでしょうか。」

主は仰せられた。「滅ぼすまい。もしそこにわたしが四十五人を見つけたら。」

■50人　⇒45人　⇒40人　⇒30人　　⇒20人　⇒10人



【交渉の成立】 創18:33

【主】はアブラハムと語り終えられると、去って行かれた。アブラハムは自分の家へ帰って行った。

■重要な取引における中東流の交渉

最初の言い値から始めて、時間をかけて
成立できる相互の妥協点を見いだしていく。

■どうして10人でやめたのか？

・ロトの親族が10人だった。

・それが、神の御心だとアブラハムは悟った。

Ⅱ. ソドムの滅び
創世記19:1～38

スライド 42

亮平2　　亮平 三浦, 2019/11/03

【ソドムのロト】 創19:1

そのふたりの御使いは夕暮れにソドムに着いた。ロトはソドムの門のところにすわっていた。*ロトは彼らを見るなり、立ち上がって彼らを迎え、顔を地につけて伏し拝んだ。

＊町の門　⇒町の行政・司法機関。

■ソドムの長老になっていたロト

ソドムを救出したアブラハムの功績のためか？

町の有力者の娘と結婚していた？

【客人を招待するロト】 創19:2～3

そして言った。「さあ、ご主人。どうか、あなたがたのしもべの家に立ち寄り、足を洗って、お泊まりください。そして、朝早く旅を続けてください。」すると彼らは言った。「いや、わたしたちは広場に泊まろう。」 しかし、彼がしきりに勧めた*ので、彼らは彼のところに向かい、彼の家の中に入った。ロトは彼らのためにごちそうを作り、パン種を入れないパン*を焼いた。こうして彼らは食事をした。

＊危険を察知していた･

＊時間がなかった？

⇒出エジプトでは、最後の災いの直前に!!

ソドムに迫る、神の裁き

【ソドムの群衆】 創19:4～5

彼らが床につかないうちに、町の者たち、ソドムの人々が、若い者から年寄りまで、すべての人が、町の隅々から来て、その家を取り囲んだ。そしてロトに向かって叫んで言った。「今夜おまえのところにやって来た男たちはどこにいるのか。ここに連れ出せ。彼らをよく知りたいのだ。*」

＊性的関係　⇒アダムは妻エバを知った。(創4:1)

ここでは、性暴力によって陵辱すること。

【命がけのロトの訴え】 創19:6～8

ロトは戸口にいる彼らのところに出て、うしろの戸をしめた。そして言った。「兄弟たちよ。どうか悪いことはしないでください。お願いですから。私にはまだ男を知らないふたりの娘があります。娘たちをみなの前に連れて来ますから、あなたがたの好きなようにしてください。ただ、あの人たちには何もしないでください。あの人たちは私の屋根の下に身を寄せたのですから。」

■かつて大洪水を招いた最悪の罪とは？

悪霊と人間が交わったこと!!

天使を冒そうとする　⇒滅びを招く最悪の罪!!

【暴徒と化す群衆】 創19:9

しかし彼らは言った。「引っ込んでいろ。」そしてまた言った。「こいつはよそ者として来たくせに、さばきつかさのようにふるまっている。さあ、おまえを、あいつらよりもひどいめに会わせてやろう。」彼らはロトのからだを激しく押しつけ、戸を破ろうと近づいて来た。すると、あの人たちが手を差し伸べて、ロトを自分たちのいる家の中に連れ込んで、戸をしめた。*

＊天使たちがロトを守り、戸を閉めた。

■大洪水の時には、主が箱舟の戸を閉めた。

【天使の告白】 創 19:11～13

家の戸口にいた者たちは、小さい者も大きい者もみな、目つぶしをくらった*ので、彼らは戸口を見つけるのに疲れ果てた。ふたりはロトに言った。「ほかにあなたの身内の者がここにいますか。あなたの婿やあなたの息子、娘、あるいはこの町にいるあなたの身内の者をみな、この場所から連れ出しなさい。わたしたちはこの場所を滅ぼそうとしているからです。彼らに対する叫びが【主】の前で大きくなったので、【主】はこの町を滅ぼすために、わたしたちを遣わされたのです。」

＊神の栄光が罪人を打たれた。

⇒それでもあきらめないソドムの人々の姿。

【ロトの警告】　創19:14～15

そこでロトは出て行き、娘たちをめとった婿たちに告げて言った。「立ってこの場所から出て行きなさい。【主】がこの町を滅ぼそうとしておられるから。」しかし、彼の婿たちには、それは冗談のように思われた。*夜が明けるころ、御使いたちはロトを促して言った。「さあ立って、あなたの妻と、ここにいるふたりの娘たちを連れて行きなさい。さもないと、あなたはこの町の咎のために滅ぼし尽くされてしまおう。」

＊裁きに対する、罪人の反応。　⇒大洪水の時にも!!

「洪水前の日々は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついだりしていました。」
マタイ 24:38

【ソドム脱出】　19:16～17

しかし彼はためらっていた。すると、その人たちは彼の手と彼の妻の手と、ふたりの娘の手をつかんだ。――【主】の彼に対するあわれみによる。*そして彼らを連れ出し、町の外に置いた。彼らを外のほうに連れ出したとき、そのひとりは言った。「いのちがけで逃げなさい。うしろを振り返ってはいけない。この低地のどこででも立ち止まってはならない。山に逃げなさい。さもないと滅ぼされてしまう。」

＊天使の警告を聞き入れたのはロトだけ。

⇒妻と娘を置いていくわけにはいかない…。

■ロトを助けるために、妻と娘を主は助けられた。

【ツォアルへ】　19:18～22

ロトは彼らに言った。「主よ。どうか、そんなことになりませんように。ご覧ください。このしもべはあなたの心にかない、あなたは私のいのちを救って大きな恵みを与えてくださいました。しかし、私は、山に逃げることができません。わざわいが追いついて、たぶん私は死ぬでしょう。ご覧ください。あそこの町は、のがれるのに近いのです。しかもあんなに小さいのです。どうか、あそこに逃げさせてください。あんなに小さいではありませんか。私のいのちを生かしてください。」

その人は彼に言った。「よろしい。わたしはこのことでも、あなたの願いを入れ、あなたの言うその町を滅ぼすまい。

急いでそこへのがれなさい。あなたがあそこに入るまでは、わたしは何もできないから。」それゆえ、その町の名はツォアルと呼ばれた。

【ソドムの滅び】　創19:23～26

太陽が地上に上ったころ、ロトはツォアルに着いた。そのとき、【主】はソドムとゴモラの上に、硫黄の火を天の【主】のところから降らせ、これらの町々と低地全体と、その町々の住民と、その地の植物をみな滅ぼされた。ロトのうしろにいた彼の妻は、振り返ったので、塩の柱になってしまった。

■ソドム、ゴモラ、アデマ、ツェボイム
　　⇒かつてアブラムに救出された町々。

■神の恵みを受けていたにも関わらず、
　　最後の機会をも拒んで、滅びにいたった。

【アブラハムが見た光景】 創19:27～29

翌朝早く、アブラハムは、かつて【主】の前に立ったあの場所に行った。彼がソドムとゴモラのほう、それに低地の全地方を見おろすと、見よ、まるでかまどの煙のようにその地の煙が立ち上っていた。

こうして、神が低地の町々を滅ぼされたとき、神はアブラハムを覚えておられた。それで、ロトが住んでいた町々を滅ぼされたとき、神はロトをその破壊の中からのがれさせた。

＊人から見た視点。

■アブラハムへの一方的な神の憐れみのゆえに、
ロトは、滅びを免れた。

【ロトのその後】　19:30～33

その後、ロトはツォアルを出て、ふたりの娘といっしょに山に住んだ。彼はツォアルに住むのを恐れたからである。彼はふたりの娘といっしょにほら穴の中に住んだ。

そうこうするうちに、姉は妹に言った。「お父さんは年をとっています。この地には、この世のならわしのように、私たちのところに来る男の人などいません。さあ、お父さんに酒を飲ませ、いっしょに寝て、お父さんによって子孫を残しましょう。」

その夜、彼女たちは父親に酒を飲ませ、姉が入って行き、父と寝た。ロトは彼女が寝たのも、起きたのも知らなかった。

【ロトのその後】　19:34～38

その翌日、姉は妹に言った。「ご覧。私は昨夜、お父さんと寝ました。今夜もまた、お父さんに酒を飲ませましょう。そして、あなたが行って、いっしょに寝なさい。そうして、私たちはお父さんによって、子孫を残しましょう。」

その夜もまた、彼女たちは父に酒を飲ませ、妹が行って、いっしょに寝た。ロトは彼女が寝たのも、起きたのも知らなかった。こうして、ロトのふたりの娘は、父によってみごもった。

姉は男の子を産んで、その子をモアブと名づけた。彼は今日のモアブ人の先祖である。

妹もまた、男の子を産んで、その子をベン・アミと名づけた。彼は今日のアモン人の先祖である。

Ⅳ. まとめと適用

絶望の中にも残った灯火

【ロトは今？】

■ロトは、義人。

Ⅱペテロ 2:6～8

「また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、以後の不敬虔な者へのみせしめとされました。また、無節操な者たちの好色なふるまいによって悩まされていた義人ロトを救い出されました。というのは、この義人は、彼らの間に住んでいましたが、不法な行いを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたからです。」

■ロトは、主の警告を受け入れ、信じ、裁きを逃れた。

■ロトは、ただ、主を信じて、救われ、義人とされた。

【ロトの子孫】

■娘(姉)から生まれた子モアブが、モアブ人の先祖となった。
妹から誕生したベンアミ(アモン人)と共に、イスラエルに最悪の姦淫と偶像礼拝の罪を犯させた。(民数記25章。レビ18:21)

■モアブ人ルツは、イスラエルのナオミの息子と結婚し、夫を失うが、
ナオミの主なる神を求めて、イスラエルへ行き、ボアズと結婚。
その間に生まれた子が、ダビデにつながり、メシアの家系に連なった。

■来たるべき千年王国において、ソドムの町は回復している。

エゼキエル16:44～57

【主イエスが告げられた、ソドムよりも罪の重い町】

「カペナウム。どうしておまえが天に上げられることがありえよう。ハデスに落とされるのだ。おまえの中でなされた力あるわざが、もしもソドムでなされたのだったら、ソドムはきょうまで残っていたことだろう。マタイ 11:23」

■イエスのガリラヤ宣教の拠点だったカペナウム。
しかし、カペナウムの町の人々の多くは、主イエスを拒んだ。

■人が犯す、最も重い罪は、主イエス・キリストによる救いを拒むこと。

■主イエスの十字架と復活の福音を信じるなら、ゆるされない罪はない!!
主の恵みの福音を、祈り求め、信じ、求め続けて行こう!!

「天のお父さま。
　わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、
　①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
　②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
　③三日目に復活(ふっかつ)したこと、を信(しん)じます。
　わたしは、ただ、この福音(ふくいん)を信(しん)じて救(すく)われました。この恵(めぐ)みの福音(ふくいん)を　さらに味(あじ)わい、確信(かくしん)を強(つよ)めていくことができますように、導(みちび)いてください。
　主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。
アーメン」